

科目名	災害看護と国際看護論		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師		3年次	後期	30 時間	1 単位
科目設定理由	<p>災害は人々を負傷させ死亡をもたらすなど健康に直接影響する。そこで、地域で暮らす多様な人々に災害が生じたときに何が起こるか考え、災害に直面し極限状態に置かれた対象を理解し、人権の尊重と深い倫理観をもって看護活動を行う能力を養うため当該科目を設定した。また、近年、グローバル化が進み、看護師が対象とする人間は、感染症や環境汚染、貧困などの影響を受けて様々な健康問題を生じている。また、日本国内における「人の国際化・グローバル化」は目覚ましく、地域社会は着実に多国籍化・多民族化している。そこで、異文化を理解した上で国内外において国際看護活動が実践できる能力を養うため当該科目を設定した。</p>					
学習目標	<p>災害医療・災害看護に関する基礎的知識・技術を習得する 世界の人々が抱える健康問題を理解する 諸外国における健康・医療・福祉の動向と課題を理解する</p>					
修得する看護技術項目	No. 47 緊急時の応援要請 No. 48 一次救命処置 NO. 49 止血法の実施					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容				備 考
1～2	災害医療の基礎知識	1 災害及び災害看護に関する基礎知識 2 災害発生時の社会の対応やしきみ 3 災害時の被害者及び援助者の心理				講義
3	災害各期における看護活動	1 災害看護の始まり 2 災害サイクル・災害看護の特徴				講義
4		1 災害サイクルに応じた活動現場別災害看護 2 災害医療の特徴				講義
5		1 被災者特性に応じた災害看護				講義
6		1 トリアージ				講義
7～8	災害時に必要な技術	1 B L S				講義・演習 NO. 47・48・49
9	国際看護の概要	1 国際看護・異文化看護の定義 2 歴史的背景と国際協力の必要性、ODA 3 国際保健医療関係の機関やNGO				講義
10	国際看護活動の支援を必要とする対象	1 国際看護活動が扱う範囲 2 海外と在日外国人における看護活動				講義
11	異文化理解	1 文化を考慮した看護理論 (1) レイニンガーの看護理論 (2) 異文化のアセスメントモデル				講義
12	感染症と看護	1 感染症（マラリア、結核、HIV/AIDS、下痢症） 2 世界共通の目標（MDGsとSDGs）				講義
13	国際看護活動の実際①	1 国際協力活動の実際 2 海外における看護活動の実際				講義
14	国際看護活動の実際②	1 国際看護に関する研究紹介 2 事例からみる異文化看護の実際				講義
15	試験					
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 [3] 災害看護学・国際看護学			庄野 泰乃 他		医学書院
	国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために			森 淑江 他		南江堂
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験、レポート等から総合的に評価する					